

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名	日本工業用水協会等参画事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり	所属部	水道局	課長名	久留 伸二
	施策	12	商工業の振興	所属課	上下水道課	担当者名	坂本 香織
	基本事業	35	企業誘致の促進	所属班	庶務料金班	(内線)	1174
				法令根拠	地方公営企業法		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	91	11	1	5				コスト削減優先度評価結果	-

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成9 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
全国的な組織等に加え、負担金を支払い、工業用水道事業に関する情報を定期的に入手し、工業用水道に関する研修等に参加する。

【業務の流れ】
日本工業用水協会、公営工業用水道事業九州ブロック連絡協議会に負担金を支払い、各種研修会等へ参加する。

【主な予算費目】 旅費・負担金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 加入協会等(日本工業用水協会、公営工業用水道事業九州ブロック連絡協議会)に負担金を支払い、工業用水道事業に関する情報を定期的に入手し、各種研修会等に参加した。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 水道局職員	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 研修等参加延べ人数 → イ 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 工業用水道の現状及び最新情報を入手できる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 水道局職員数(工業用水道事業会計) → イ 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 立地できる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 入手できた情報件数 → イ 件
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 立地企業数 → イ 社

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	84	113	126	100	152	150		150
		繰入金	千円	47	9	25	7	19	21		21
	一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	131	122	151	107	171	171	171		
	うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	人件費										
正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1			
延べ業務時間	時間	56	56	56	9						
(B)人件費計	千円	222	223	223	36	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	353	345	374	143	171	171	171	0		

活動指標	ア 人	1	1	1	1	1	1	1	1	目 標 数 計 画 22 年 度
対象指標	ア 人	1	1	1	1	1	1	1	1	
成果指標	ア 件	10	8	8	8	8	8	8	8	
上位成果指標	ア 社	2	1	2		1	1		1	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
熊本県が平成8年度から造成の始まった第2テクノパーク(現在:セミコンテクノパーク)内のインフラ整備として、工業用水道の建設も平成8年度から始まり、平成10年4月に一部給水を開始し、平成12年度に完成した。これに伴い、平成14年度から日本工業用水協会に入会した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成9年度は、建設事業のみであったが、平成10年度1社、平成13年度3社、平成14年度1社(現在工業用水休止)、平成16年度1社、平成19年度1社、現在計6社に工業用水を供給している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
受水企業2社より料金値下げの要望があった。また、1社より井戸掘削をするとの話があった。

事務事業名	日本工業用水協会等参画事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「工業用水道の現状及び最新情報を入手できる。」ことにより、結果の「立地できる。」に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 現在、市に代わる事業者がいなかったため、市が工業用水道事業を行わなければ、企業が立地し、工業用水を使用することが出来なくなる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 最低人員で行っているため向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 工業用水道事業が無くなれば、受水企業へ工業用水を供給出来なくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) 商工振興課の事務事業との統廃合・連携の可能性があると考えられる。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 商工振興課の事務事業との統廃合・連携の可能性があると考えられる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最小限の予算・人員のため削減の余地がない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最小限の人員のため削減の余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ セミコンテクノパークの立地企業すべてに受益機会があるため公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、商工振興課の事務事業との統廃合・連携の可能性があると考えられる。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・商工振興課の事務事業との統廃合・連携の可能性があると考えられる。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)